



# GO TO デンタル

— 歯科医院で救える命がある —

講師 **柴原 孝彦** 先生  
東京歯科大学 名誉教授

平成24年4月の歯科診療報酬改訂で新たにがん治療の周術期における口腔機能の管理を含めたチーム医療の推進が加わりました。平成30年度の改訂では、対象疾患や全人的、口腔環境などが拡大、明文化され、歯科連携をとることのメリットに加算が付き、より手厚くなっています。また、令和2年度では、全身麻酔以外の手術にも適応が拡大され、歯科が医療の中で重要な位置にあることが強調されています。まさに歯科力をアピールする絶好のチャンス到来と言えます。しかし、現状はどうでしょうか、この体制は十分に浸透しているのでしょうか？未だ十分でない原因として、医科からの紹介があって初めて動き出すシステムであること、そして歯科は医科にアプローチしていないことが挙げられます。すなわち支持療法の中で口腔care、口腔cureの重要性が認識されていないのが現状です。歯科のない病院では、地域歯科医師会が率先してアプローチするしか手段がありません。

理想のモデルは、歯科のない病院が地域歯科医院へ周術期の口腔careから口腔機能管理、口腔cureまで依頼すること、そして病院内での歯科的不快事象に対しては地域歯科医師会の往診チームが対応し、退院後はかかりつけ歯科医院へ戻すこと、と考えます。

口腔衛生管理の第一人者は開業歯科医院の歯科医師と歯科衛生士であり、歯科医院で救える命があります。歯周治療やメンテナンスなど臨床の現場で毎日口腔粘膜に携わっている歯科衛生士だからこそ、歯周炎だけでなく様々な粘膜疾患を見分け判断する目と知識を持って欲しいと思います。もうこれ以上、『口腔粘膜難民』を作らないために、皆さまのお力添えが必要です。

本講演では、多くの症例を加えがん治療の基礎から臨床まで、すべてをお見せします。そして周術期口腔機能管理の在り方、やり方、そして問題点についても解説を行います。この分野においても皆さま方がフロントランナーとなることを祈念しております。

令和4年1月30日(日) 13:15~16:45  
(入室12:45より)

本案内書裏面のQRコード・URLよりお申込みください

\*状況により変更になった場合は別途ご連絡いたしますので、当会からの受信可能なアドレスでお申込みください

# 京都府歯科衛生士会 令和3年度 第3回学術研修会



## ◁お申し込みはこちら

<https://forms.gle/YsVmC1R1ampBWb3x9>

- 受付完了後確認メールが届きます。  
確認メールが届かない場合は、迷惑メールや拒否設定等メール設定をご確認の上、再度お申込みください。

開催日時 : 令和4年1月30日(日) 13:15~16:45 (入室12:45~)

開催方法 : Web開催 (Zoom)

日本歯科衛生士会 認定更新生涯研修単位 3単位(下記参照)

※入力間違いによる申込不受理は責任を負いかねますのでご注意ください  
※1月27日(木)に招待メールを送信いたします(bcc一斉送信)

### 開催方法

Web開催(Zoom)

### 定員

80名(先着順)

Web環境の整った場所での受講をお願いします  
受信環境のトラブルには一切の責任を負いません

### 受講料

京都府会員 無料  
他府県会員 3000円  
非会員 5000円

### 取得単位

日本歯科衛生士会 認定更新生涯研修

周術期の口腔機能管理

I がん治療とは

Cがんの診断と評価

Dがんの病期診断

II 周術期患者の歯科治療・口腔機能管理

A周術期における歯科介入の意義

(計3単位)

※受講料は事前振込となります。  
いかなる場合も返金は致しませんので  
予めご了承ください。  
(詳細はメールにてご連絡いたします)

\*遅刻早退時は単位取得ができませんのでご注意ください。

\*お申し込み後にやむをえず欠席される場合は、メールにて必ずご連絡ください。

\*定員となった時点でホームページでお知らせいたします。

**FAX・Emailでの受付は致しませんのでご注意ください**

公益社団法人 京都府歯科衛生士会

Email : [kdh2000@mbox.kyoto-inet.or.jp](mailto:kdh2000@mbox.kyoto-inet.or.jp)